

Let's わらしな

2016年度 清沢地区自治会連合会会長

2016年度 藁科中学校 同窓会長

元 静岡市PTA連絡協議会会長

尾崎 行雄



2014・2015年度 服織小学校PTA会長

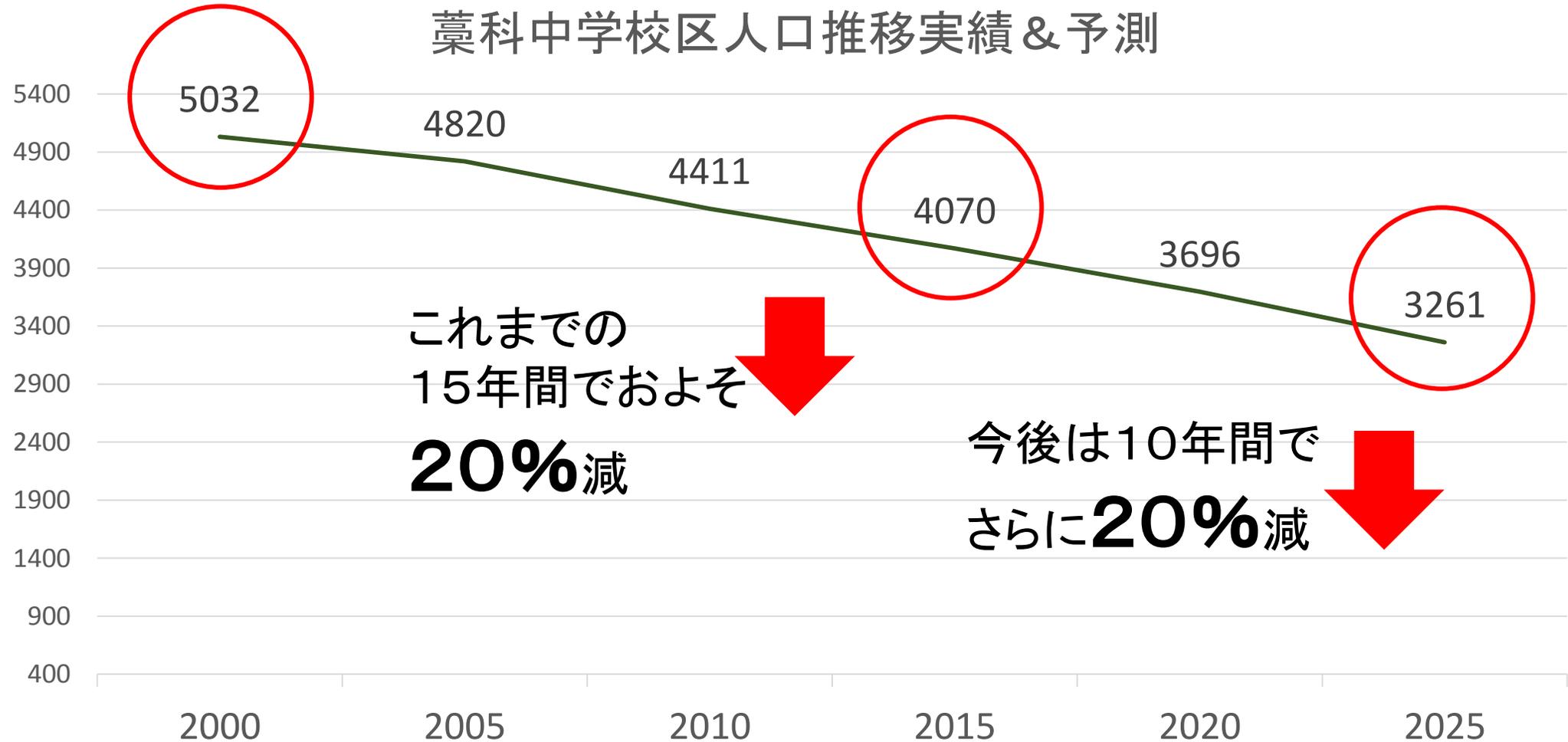
2014年度地域デザインカレッジ受講生

介護支援専門員

伊藤大輔



「これまでに起きたこと」「これから起きそうなこと」



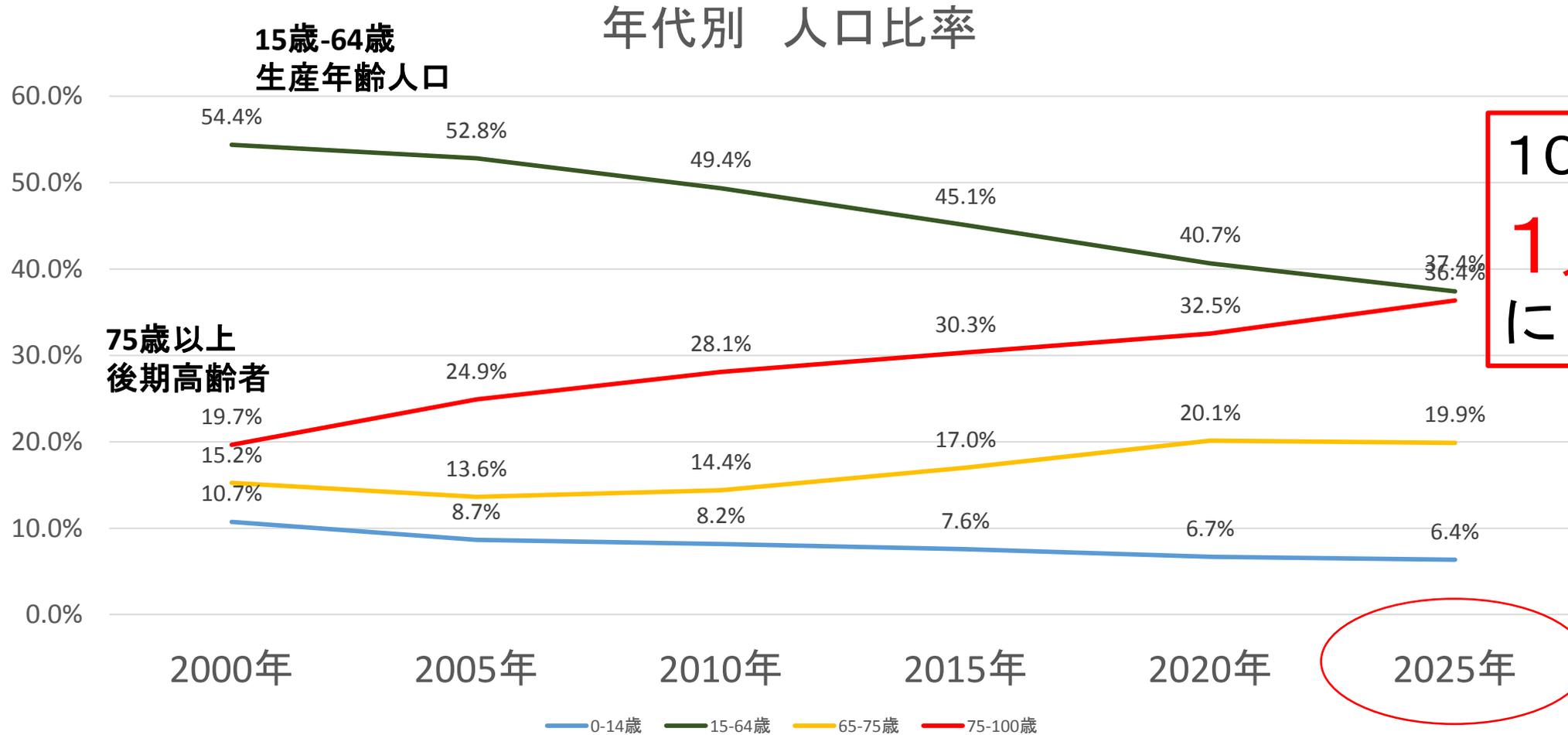
「これまでに起きたこと」「これから起きそうなこと」



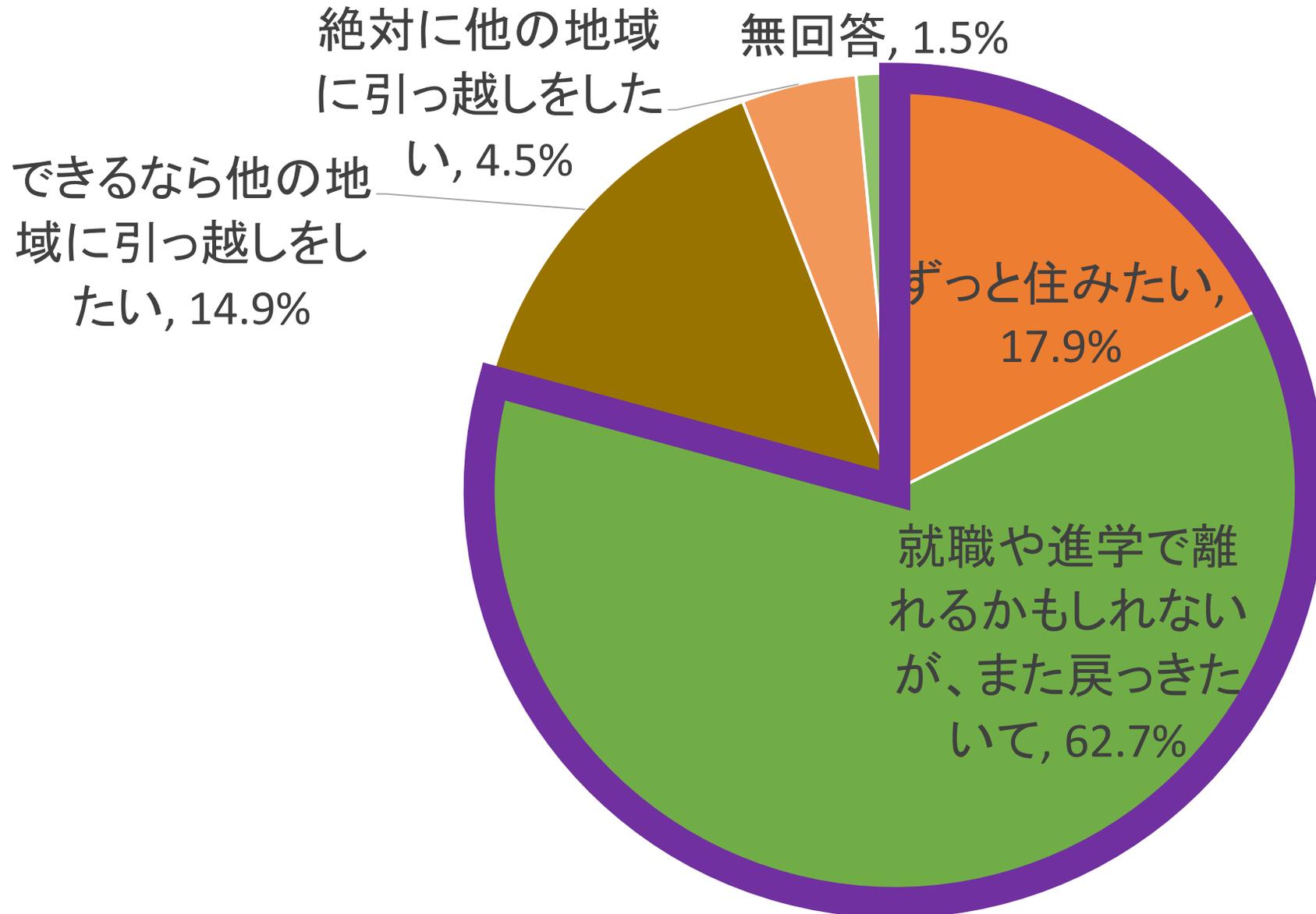
失った人口を取り戻すことができていない

10代後半から30代前半が地域から流出

「これまでに起きたこと」「これから起きそうなこと」

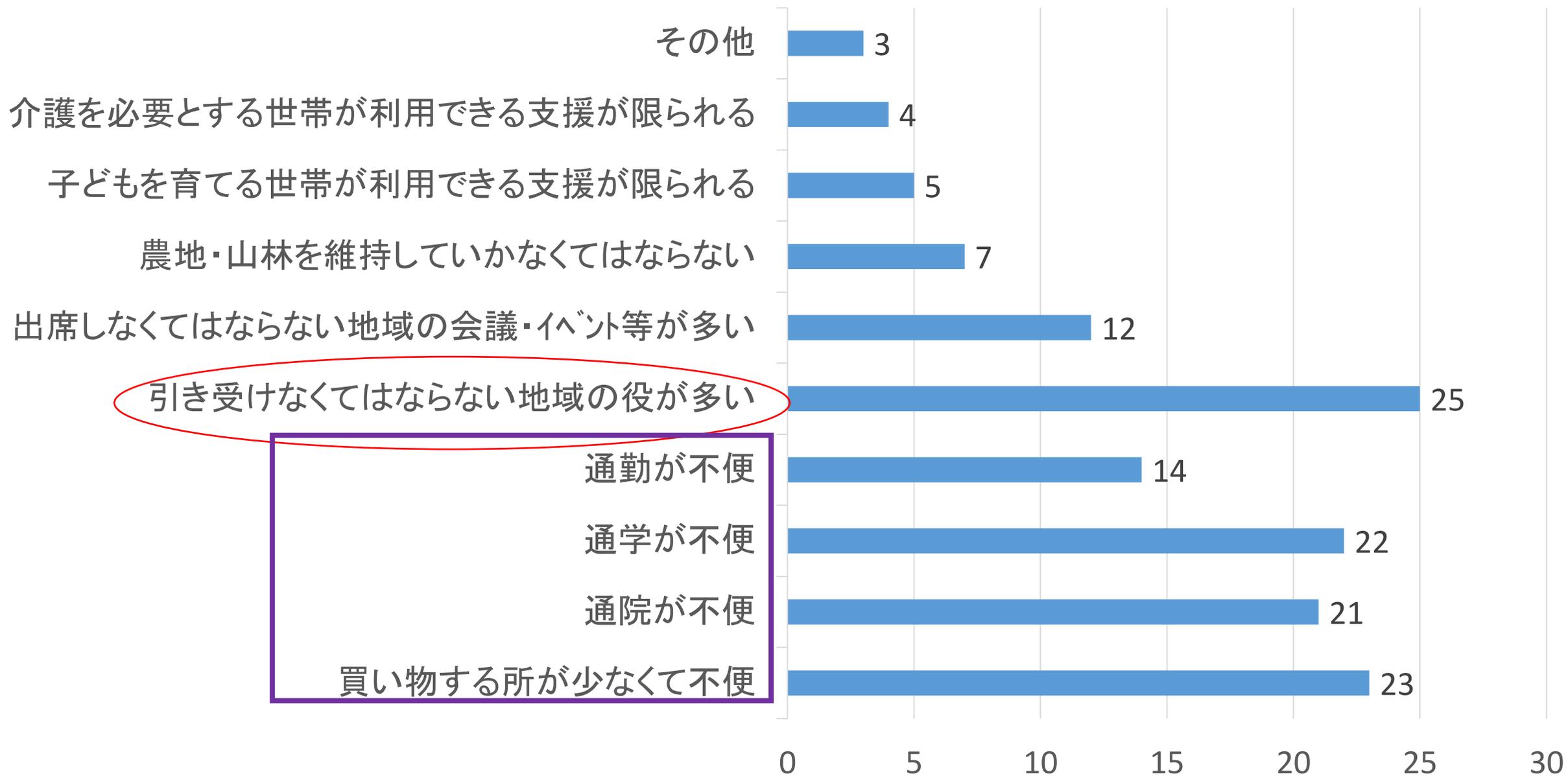


これから大人になっても藁科地域に住み続けたい？



交通の便が良くなること	スーパー、ドラッグストア、コンビニ
仕事がある	店が近くにあれば住んでもいい(スーパーとか)
バスの便が多くなったらいい	そこまで言うほど不便ではないと思う。戻って住めると思う。
飲食店がほしい	子どもが勉強できる環境が街中の方が整っている。部活、塾など選べない。子どもの幅を縮めてしまう。
子育て支援の充実。車が止められる公園があるといい	街灯。暗い、こわい。
このままでいい。仕事で定年になったら戻ります	家賃が公営団地と同じくらいなら住んでもいい。家が新しく建てられる土地。
子供が少ないので戻れない。子どもの支援。子どもを預かってくれる所	義母との完全同居はハードルが高い。近くにアパートとかあれば。高校生になっても子どものお迎えがあって大変
子育てしながら仕事ができる環境。今のままでは戻るメリットがない	高齢者の為の施設。公共施設。

藁中PTA会員アンケート 地域に住んで負担に感じること



2020年代に向けての提案

地域の住民の負担（地域の役）
を減らして、求められる支援
（移動支援）の拡充を！